

2024年(令和6年)10月1日 報道発表資料

[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

報道関係者各位

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XXI

ヴェルディ：歌劇「椿姫」

2025年公演詳細発表／11月16日(土)よりチケット発売開始

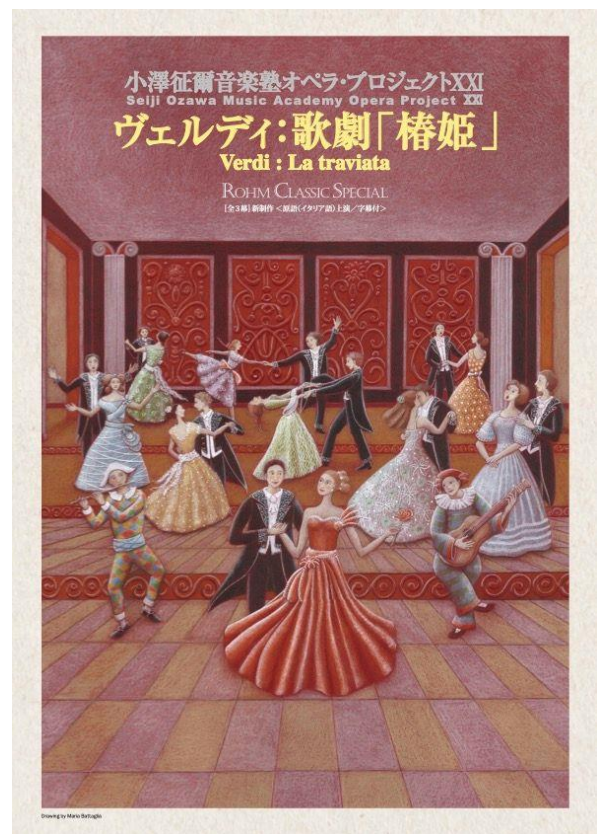
2025年3月に、京都・東京の2都市で開催する小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XXI ヴェルディ：歌劇「椿姫」公演詳細及び、チケット情報が決定いたしました。

21回目を迎える2025年のオペラ・プロジェクトで取り上げるヴェルディ作曲の不朽の名作「椿姫」は、パリの華やかな社交界に生きるヴィオレッタと若き青年アルフレードの、愛と哀しい運命を描いた物語。「乾杯の歌」、「ああ、そはかの人か～花から花へ」など名曲がふんだんに散りばめられ、まさにオペラ史に燦然と輝く最高傑作のひとつです。

指揮を務めるのは、小澤征爾音楽塾首席指揮者のディエゴ・マテウス。「椿姫」が初演されたイタリア・フェニーチェ歌劇場の首席指揮者をおかつて務め、この作品を数多く指揮してきた経験を持っています。演奏は、日本をはじめアジア各国からオーディションを経て選出され、原田禎夫副塾長、サイトウ・キネン・オーケストラメンバーらの熱い指導を受けて大きく成長する小澤征爾音楽塾オーケストラが務めます。演出は、小澤征爾音楽塾アーティスティック・ディレクターのデイヴィッド・ニース、装置および衣裳デザインはロバート・パージョーラによる新制作でお届けします。両者ともに名匠フランコ・ゼッフィレリの薫陶を受け、これまでもこのコンビで数々の作品を世に送り出しています。

ヴィオレッタ役に、欧州各地の歌劇場で活躍し、同役で高く評価されるアルメニア出身のソプラノ、ニーナ・ミナシアンを迎え、アルフレード役には躍進中の中国系オーストラリア人テノール、カン・ワンが務めます。そしてジェルモン役には、現代を代表するヴェルディ・バリトンの一人であるアメリカ出身のクイン・ケルシーが登場します。サイトウ・キネン・フェスティバル松本での「利口な女狐の物語」(2008)の森番役、「ファルスタッフ」(2014)のタイトルロールでの好演をご記憶の方もいるはず。フローラ役にメーガン・マリノ、ガストン役にマーティン・バカリ、さらにこれまで小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトでソリストやカヴァーキャストとして参加している牧野真由美、井出壮志朗、町英和、河野鉄平が脇を固めます。また、小澤征爾音楽塾初めての試みとして、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場で合唱指揮を長年務めたドナルド・パルンボを招聘し、このプロジェクトの教育的側面を合唱についても充実を図ります。

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトが満を持して贈る「椿姫」の新制作上演に、どうぞご期待ください。



京都公演のチケットは、2024年11月16日(土)より発売開始。S席～C席をご用意しました。また、人気のU25チケット(25歳以下の方が対象:3,000円)、U39チケット(39歳以下の方が対象:10,000円)に加えて、今回初めて「おとな+子ども いっしょにオペラ券」を発売します。おとなと子ども(小学校1年生～中学校3年生)が並んで鑑賞できるお得なセット券。オペラという舞台芸術をより幅広い年齢層に体験していただくためにご用意した特別なチケットです。いずれも枚数限定、詳細はチケット情報をご覧ください。

また、毎年ロームシアター京都で開催される「子どものためのオペラ」公演(入場無料・一般公開なし)を、今年も開催いたします。ぜひ貴媒体にてご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

小澤征爾音楽塾 首席指揮者

ディエゴ・マテウスよりメッセージ

私にとって「椿姫」は、おそらくイタリア・オペラ最高の表現であると言えます。豊かなメロディー、ドラマの構成、感情の激しさ、そしてヴェルディが歌詞を完璧に音楽に融合させ、このオペラを宝石に変えた儚さの瞬間に満ちています。

ベネズエラのエル・システムという小澤征爾音楽塾と非常によく似たプロジェクトで育ち教育を受けてきた私にとって、音楽塾はとてとても特別であり、私の心の中、そしてキャリアの中でとても重要な位置を占めています。すべての教育プロジェクト、特にマエストロ・オザワが創設したこのプロジェクトは、若い音楽家にとって大変価値があることと確信しています。なぜならここで若い音楽家は経験豊富な先生方に習う機会を得て、これから先プロとしてやっていくための準備ができるからです。この素晴らしいオペラを皆さんと分かち合うために指揮台に立つ瞬間が待ちきれません。

小澤征爾音楽塾 首席指揮者
ディエゴ・マテウス

演出家/小澤征爾音楽塾アーティスティック・ディレクター

デイヴィッド・ニースよりメッセージ

小澤征爾音楽塾始まって以来、初めてヴェルディのオペラを上演できることをうれしく思います。「椿姫」は間違いなくオペラの最高傑作の一つであり、モーツァルトやプッチーニ、ラヴェルなどの上演に続いて、満を持して音楽塾でヴェルディを上演する準備が整いました。「椿姫」はヴェルディ作品の中でも最も人気があり、若い音楽家にとっては極めて重要な経験となるでしょう。また今回、ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場で活躍する、世界屈指の合唱指揮者ドナルド・パルンゴをチームに迎え、ヴェルディのスタイルというものを合唱団に仕込んでいきます。音楽塾では合唱団は若手の歌手たちで構成されています。彼のもとで学ぶことは忘れられない経験となるでしょうし、その成果を皆様と一緒に共有できたらと思っています。

演出家/小澤征爾音楽塾アーティスティック・ディレクター
デイヴィッド・ニース

【公演概要】

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XXI

ヴェルディ：歌劇「椿姫」

ROHM CLASSIC SPECIAL

[全3幕] 新制作 原語(イタリア語) 上演/字幕付

2025年3月14日(金) 15:00開演、3月16日(日) 15:00開演

ロームシアター京都 メインホール



小澤征爾音楽塾創設者/永久音楽監督：小澤征爾
小澤征爾音楽塾副塾長：原田禎夫
アシスティング・ディレクター：小澤征良
指揮：ディエゴ・マテウス(小澤征爾音楽塾首席指揮者)
演出：デイヴィッド・ニース
装置・衣裳：ロバート・パージオーラ
照明：イー・ツァオ
合唱指揮：ドナルド・パルンボ
管弦楽：小澤征爾音楽塾オーケストラ
合唱：小澤征爾音楽塾合唱団

ヴィオレッタ・ヴァレリー：ニーナ・ミナシアン
アルフレード・ジェルモン：カン・ワン
ジョルジョ・ジェルモン：クイン・ケルシー
フローラ：メーガン・マリノ
アンニーナ：牧野真由美
ガストン：マーティン・バカリ
ドゥフォール男爵：井出壮志朗
ドビニー侯爵：町英和
医師グランヴィル：河野鉄平

チケット一般発売開始：2024年11月16日(土) 10:00～

※京都コンサートホール&ロームシアター京都フレンズ会員(オンラインのみ)・Club会員・京響友の会
会員先行は、2024年11月9日(土) 10:00～

チケット料金(全席指定・消費税込)：

S席 ¥22,000 A席 ¥16,000 B席 ¥13,000 C席 ¥8,000

託児サービスあり

おとな+こども いっしょにオペラ券 [おとなA席割引料金 ¥14,000+こども ¥3,000]

並びの席で鑑賞できるセット券(A席)。おとな・こども各2枚まで。こどもは公演当日に小1～中3の方。当日ご来場時に年齢確認あり。座席指定不可。

U39席：¥10,000

(公演当日に39歳以下の方。S席A席より枚数限定で販売。座席指定不可。販売窓口限定。当日ご来場時に年齢確認あり。お一人様1枚限り。)

U25席：¥3,000

(公演当日に25歳以下の方。座席指定不可。販売窓口限定。当日ご来場時に年齢確認あり。お一人様1枚限り。)

主催：小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン
京都市／ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
共催：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛：ローム株式会社
企画・制作：ヴェローザ・ジャパン

他都市での公演

2025年3月20日（木・祝）、22日（土）両日 15:00 開演 東京文化会館 大ホール

【小澤征爾音楽塾について】

小澤征爾音楽塾は、ローム株式会社の佐藤研一郎社長（当時）と小澤征爾がオペラを通じて若い音楽家を育成することを目的に、2000年に立ち上げた教育プロジェクト。恩師カラヤンの教えである「交響曲とオペラは車の両輪のようなもの」を持論とする小澤が「教えること」に生涯を捧げたもう一人の恩師 齋藤秀雄のスピリットを受け継ぎ、若い音楽家たちとともに学ぶ場として開催しています。

毎年、国内外でのオーディションで選ばれたアジア諸国（日本、中国、台湾、韓国）の若い音楽家たちから成る小澤征爾音楽塾オーケストラが、小澤征爾とサイトウ・キネン・オーケストラメンバーでもある演奏家たちから指導を受け、分奏形式やオーケストラピットでのリハーサルを重ねながら、世界の歌劇場で活躍するオペラ歌手・演出家と共に高水準のオペラを創り上げる「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト」。第一線で活躍するプロの歌手と若手オーケストラが贅沢に時間をかけてリハーサルを重ね、高水準の公演を行うという世界的にも希有な本プロジェクトの存在は、塾生たちにとっても特異な経験ができる唯一無二の場所と、その文化的意義も高く評価されています。

小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトはこれまでにモーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」、J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」などをはじめ、多くのオペラ作品を上演しています。

半導体・電子部品メーカーのローム株式会社（本社：京都市）及び公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、2000年の小澤征爾音楽塾設立以来、継続的に本プロジェクトを支援してくださっています。小澤征爾音楽塾は、2016年1月にリニューアルオープンしたロームシアター京都を制作拠点とし、京都をはじめ全国で公演を開催しています。さらに、2015年以来、京都の小学生を対象とする「子どものためのオペラ」公演（無料）を実施しています。

【京都公演に関するお問い合わせ】

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）（担当：儀三武、寺田）
〒606-8342 京都府京都市左京区岡崎最勝寺町13
電話：075-771-6051（10：00～17：00）Eメール：press@rohmtheatrekkyoto.jp

【広報に関するお問い合わせ】

（株）ヴェローザ・ジャパン／小澤征爾音楽塾（担当：内田）
〒157-0066 東京都世田谷区成城5-8-17 フォーレスト成城3F
電話：03-6411-5445 Eメール：pr@verozajapan.com

[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 担当:儀三武、寺田
電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekkyoto.jp